

Q フードの保管方法は?

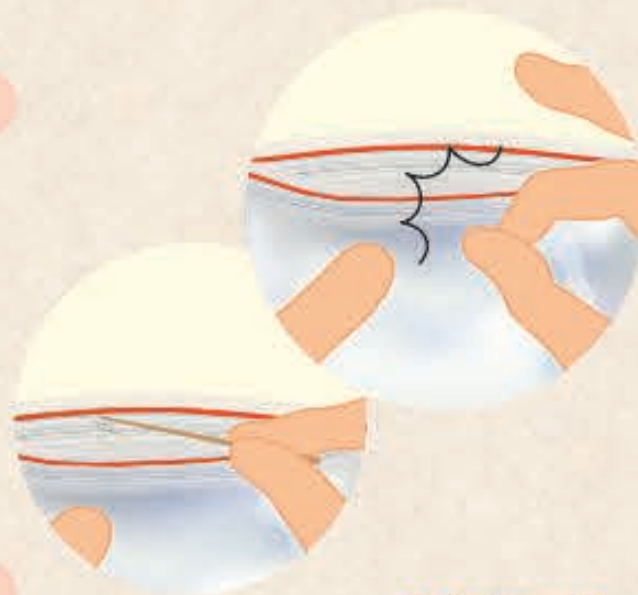
A 封をして常温で保管

フードは酸素・水分・光により劣化したり、フードを食べる虫の侵入の危険があります。フードは日光の当たらない室内で、チャックやフタを閉め保管し、半年程度で使い切ってください。

チャックへのフード噛み注意

チャックの凹部分にフードの粉が詰まると、閉まらなくなります。閉める前はチャック部分をはたいて、粉が詰まらないようにしましょう。

もし粉が詰まったら、爪楊枝などで凹部分を掃除してください。



長期保管の方法

開封時に密閉できる容器などに小分けにすると劣化を遅くできます。

冷蔵庫保管について

室温で冷たいフードのチャックを開けると、空気中の水分により粒が結露します。フードの水分が増加し、カビの発生につながりますので、冷蔵庫保管はおすすめいたしません。



Q 飼育水に色が着くときは?

A 白色は水替えして待つ。黄色/茶色は活性炭。緑色は遮光。

白色

ろ過槽に住んでいるバクテリアが少ないと水中に雑菌や有機物が増えて白ニゴリします。

“新しいろ材”や“ろ材の洗いすぎ”のときに発生しやすく、ただちに水を替え、ろ材を洗わずに3週間ぐらい経過すると、自然にろ過槽のバクテリアが発生して水が透明になります。



黄色 茶色

フードに含まれる原料の色素が水に溶け出し黄色や茶色になります。人工着色料不使用のフードにすると着色が少なくなるよ。さらに色素を吸着する高級活性炭のカーボンパックやブラックホールを入れると透明になります。



緑色

植物プランクトンが大量発生すると緑色になります。

植物が育つ窒素・リン・光を減らすのが効果的。リンを減らす「梅エキス」が入ったフードに変更したり、水槽を暗い場所へ移動したりライトの点灯時間を減らしたりしてみよう。

